



820号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



12月4日(木) 11:00~11:30 検数労連第7回 25冬季一時金交渉 25冬季一時金妥結表明。支給日12月10日(水)を確認。

【2025年度冬季一時金回答書(全日検)】(一部抜粋)

1. 支給額

(1) 職員

算式(本給+役付)×乗率+一律+α

職員平均(243,311円)×1.9+76,127円+α

全国一人平均 538,418円+α

①一律	=	1年以上5年未満	全国一律	66,000円
		10年未満	全国一律	70,000円
		15年未満	全国一律	74,000円
		20年未満	全国一律	78,000円
		25年未満	全国一律	82,000円
		25年以上	全国一律	94,000円

② α = 調整加算

(2) 勤続一年未満の職員 本給×2.2ヶ月

(3) 準職員	半年未満	全国一律	35,000円
	1年未満	全国一律	65,000円
	5年未満	全国一律	85,000円
	10年未満	全国一律	125,000円
	10年以上	全国一律	145,000円

(4) 契約雇員 全国一律 180,000円

2. 支給日 2025年12月10日(水)

ただし、5銀行営業日前までの妥結意思表明を条件とする。

3. その他

(1) 支給日当日の在籍者に対し、2025年12月1日現在の身分給与により計算し支給する。

12月4日(木) 第7回検数労連25冬季一時金交渉で組合は12月3日付で各地域から受けた25冬季一時金闘争全般にかかわる『中間見解』に対する意見を集約し、本日の交渉で『妥結』を表明しました。

妥結の態度表明にあたり組合は、各地域から両協会とともに昨冬比で総額が上積みされている事については評価の声があるものの、不満点として有額回答指定日での回答未提示やアルファ回答での支部間格差を言及。今後の課題であることを強調しました。

その後、次の通り妥結の態度表明を行い、支給日12月10日を確認して25冬季一時金闘争を收拾しました。

【態度表明(要旨)】

冬季一時金要求全般については現到達をもって『妥結』を表明する。回答額については、『生活防衛闘争』としての全体評価では不十分ながらも一定理解するに至った。具体的には、両協会ともに昨冬比を上回る回答、平均相場でもプラス回答、全日検の昨冬比乗率の上積みは一定評価できる内容となった。

一方で要求算式に入っていない回答、特に支部間格差となっているアルファ部分(全日検の調整加算・日検協会の業績加算)については、依然として労使間での温度差を感じざるを得ない状況であり大きな不満を残した。支給条件や諸要求についても、理解が得られなく残念な結果となった。

今後の労使課題として、次の問題点を提起する。

一時金はすべての組合員にとって、生活の安定に欠かすことの出来ない生活給となっている。

今後も世界情勢の変化や国策によって港湾物流が荒波にさらされる事が予想される。そのなかで『仕事と収入の確保』に照らし合わせながら、検数業務を取り巻く状況を的確に捉え、安定した事業基盤の確立や雇用の流動性への対応策が最重要課題と考える。

引き続き『適正料金收受』や『検数の役割』等を労使共通の課題として位置づけて認識の一致をはかりながら、検数事業を支える労働者が希望を持って働ける労働環境整備等に向けた取り組みをすすめていくことを強く求める。

【2025年度冬季賞与に関する回答書(日検協会)】(一部抜粋)

1. 支給額

(1) 職員・雇員

(本給+家族手当)×乗率+一律+α

(218,562円+10,080円)×2.10ヵ月+60,000+α

228,642円×2.10ヵ月=480,149円

全国平均 540,149円+α

(2) 試用期間中の職員

{(本給+家族手当)×乗率+一律+α}×0.8×在籍日数/180日

2. 支給日 2025年12月10日

3. 支給対象者 2025年12月10日現在の職員、雇員

各地域闘争委員会の皆様

25冬季一時金闘争お疲れ様でした。

年明けから26春闘が

始まります。

また新たな闘争に向けて“一致団結”で頑張ってください。

